

倉敷市とLINE WORKSが、災害時等の応援協定を締結

「LINE WORKS」を活用し市と各機関が連携することで、地域の防災力向上を目指す

ビジネス現場のコミュニケーションツール「LINE WORKS」を提供するLINE WORKS株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：増田 隆一）は、岡山県倉敷市（市長：伊東 香織）と、1月18日に「LINE WORKS活用に関する災害時等応援協定」を締結したことをお知らせいたします。

LINE WORKS



■背景

倉敷市では、災害時におけるやり取りについて電話を中心に行っており、伝達にタイムラグが発生してしまうことや、聞き間違いのおそれなどがありました。特に平成30年7月豪雨災害においては、通信インフラの障害や規制により、災害対策本部内での情報伝達や、災害対策本部と避難所、避難所間の連絡を思うように行うことができず、災害時における初動対応や職員間の情報連携に課題を抱えていました。南海トラフ地震など今後大きな地震も予期されていることから、倉敷市はそういった課題を解決するべく、倉敷市はコミュニケー

LINE WORKS

シオンツールの導入を検討し、より迅速に、かつ確実に情報を伝えることができるツールとして「LINE WORKS」が採択され、応援協定を締結する運びとなりました。

■協定内容

災害対策において、倉敷市災害対策本部など市内における情報のやり取りや、国や県、警察等の行政機関に加え、電力会社等のインフラ機関、医療福祉機関など倉敷市の各機関からの被害情報の共有を「LINE WORKS」のトーク上で行います。画像やテキストで即座に送受信できるほか、過去に報告した内容も履歴として残るため、報告内容の振り返りも容易になります。

**市内の情報共有や各機関の被害報告等を「LINE WORKS」を用いて実施
迅速な共有ができるほか、過去の報告内容の振り返りも可能に**

今後 LINE WORKSを用いた報告例や活用イメージ
(倉敷市 市内)

LINE WORKSで各機関・組織の報告用のグループトークを作成

今後 LINE WORKSを用いた報告例や活用イメージ
(庁外・外部機関)

医療・福祉機関	電力会社
X月X日 X時X分 状況報告 ○〇病院：受け入れ可能、病床数△△ XXXセンター：けが人あり、搬送予定	X月X日 X時X分 停電情報 停電の発生状況 ①○○地区：○〇世帯 ②XXX地区：△△世帯 ③△△地区：□□世帯 復旧見込みは未定
警察本部	水路管理関係者
X月X日 X時X分 状況報告 国道○○号線付近にて土砂災害発生、通行不可 ・カメラで撮影した現地の写真 ・地図アプリのスクリーンショット	X月X日 X時X分 状況報告 ○〇エリア：一部で水位上昇 復旧作業中、復旧見込みは未定

※記載の報告例はいずれもイメージです。今後検討してまいります。

報告内容の例

- ・X月X日X時現在の避難者数 ○名
- ・X地区にて火災発生。警戒区域を設定し、○世帯50名に退去を命令。
- ・○〇避難所からの要請により、要配慮者対応のため、保健師○名を派遣
- ・倉敷市で震度5強を観測したため、全職員はあらかじめ決められた場所へ参集

今後倉敷市では、平時における「LINE WORKS」活用も視野に入れ、公務における業務管理やコミュニケーションを効率化することを目指すほか、「LINE WORKS」を利用した民間との情報共有などを図ってまいります。倉敷市とLINE WORKS株式会社は、今後も相互に協力し、地域の防災力向上と、行政間及び行政と関係団体のコミュニケーション強化を推進していきます。

今回締結する協定の内容は次の通りです。

連携協定概要

■目的

相互に連携及び協力し、倉敷市の災害時における業務や市民サービスの向上と地域活性化に係る業務等において「LINE WORKS」を活用することで、公務における業務管理や関係団体等とのコミュニケーション等を効率化すること

LINE WORKS

■連携事項

- (1) 平時を含めた災害対応に関すること
- (2) 業務プロセスの可視化による公務マネジメントの効率化に関すること
- (3) 行政間及び行政と関係団体等とのコミュニケーション手法の転換に関すること
- (4) その他デジタル技術を活用した市民の利便性向上等に関すること

「LINE WORKS」とは

チャットやスタンプはもちろん、掲示板、カレンダー、アドレス帳、アンケートなど、現場で活用できる充実したグループウェア機能を揃えたビジネスチャットです。コミュニケーションアプリ「LINE」のような使いやすさを保ちながら独自に開発・提供を行っており、ユーザーの教育も最小限に導入したその日から誰でもすぐに使えます。PCやタブレットのほか、スマートフォンだけでもほとんどの機能が使えるため、オフィスワークだけでなく、拠点や店舗などPCを使う時間の少ない「現場」での活用が進んでいます。無料版、有料版(スタンダード・アドバンスト)があり、無料でもほとんどの基本機能を使うことができ、顧客や取引先など社外とのやりとりにも活用していただけます。

富士キメラ総研「ソフトウェアビジネス新市場2018～2023年版」では、2017年度～2022年度まで6年連続で有料ビジネスチャット国内シェアNo.1を獲得しました。

■会社概要

社名: LINE WORKS株式会社

本社: 東京都渋谷区神宮前1-5-8 神宮前タワービルディング11F

設立: 2015年6月

代表者: 代表取締役社長 増田 隆一

資本金: 55億2,000万円

URL: <https://line-works.com/jp/>

※記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の商標または登録商標です。

※本プレスリリース記載の情報は発表日現在の情報です。予告なしに変更されることがありますので、予めご了承ください。